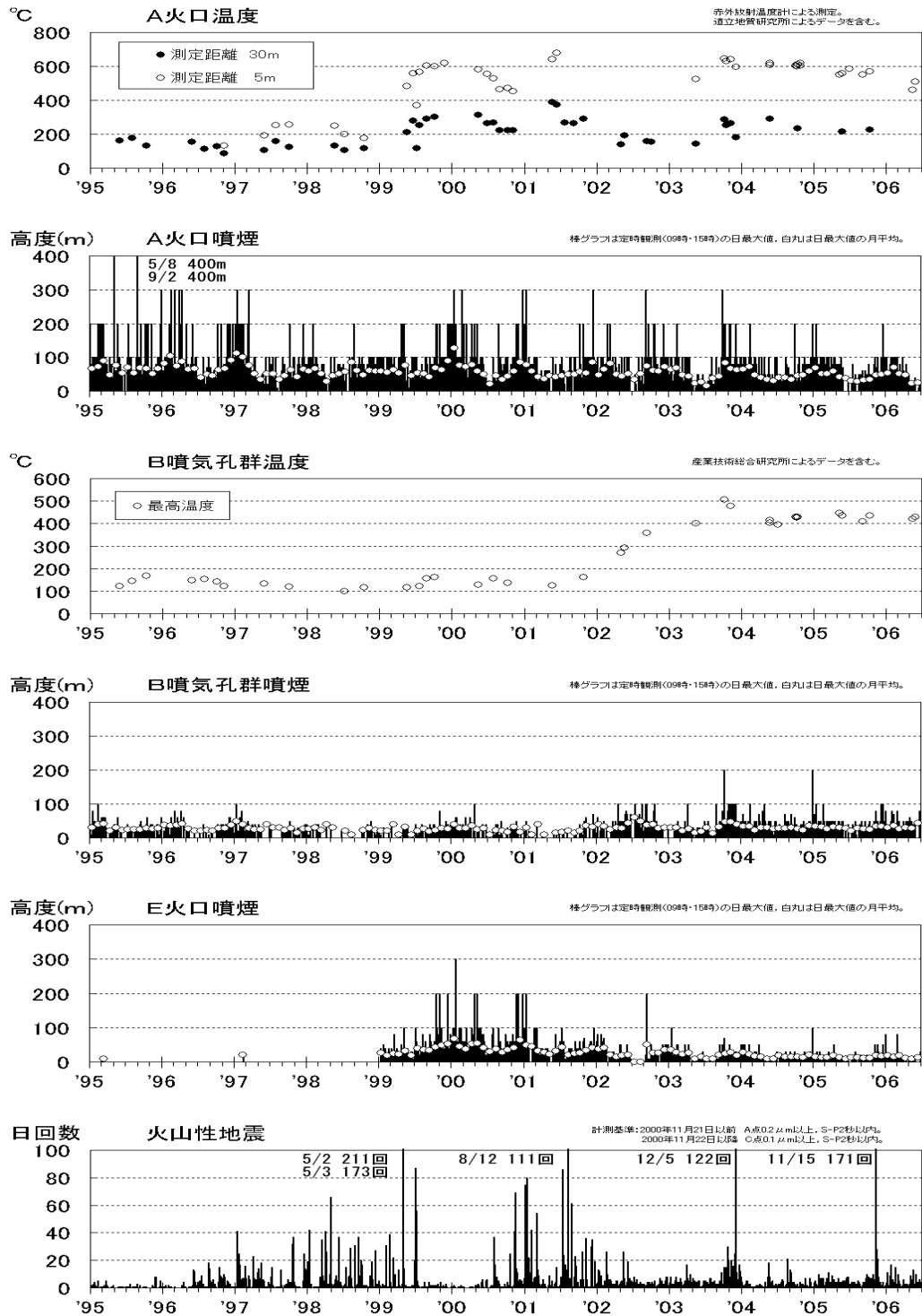


# 樽前山

## 1 概況

A火口やB噴気孔群は高温の状態が続いており、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。



最近の火山活動経過図(1995年1月1日~2006年6月30日)

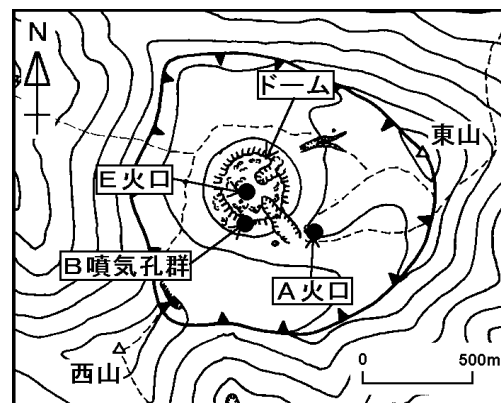
樽前山の火山活動解説資料は気象庁の他に、北海道のデータも使用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

## 2 噴煙および火口の状況

各火口の噴煙の状況は前期間と大きく変わらず、噴煙の高さは火口縁上おおむね 100m以下で推移しました。

6月1日に調査観測を実施しました。A火口およびB噴気孔群では高温の状態が継続していました。

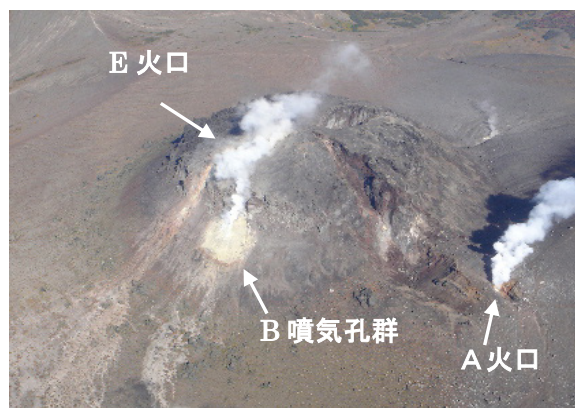
また、30日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。ドームおよびドーム周辺の火口の状況に大きな変化はありませんでした。



樽前山頂ドーム周辺図



南西側上空から撮影した溶岩ドーム  
(2006年6月30日撮影)



南西側上空から撮影した溶岩ドーム  
(2005年11月2日撮影)

いずれも北海道開発局の協力による

### 【A火口】

噴煙の勢いは弱いものの、強い二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 臭が認められました。赤外放射温度計\*で測定した火口温度は約 510°C (昨年 10 月の観測時は約 570°C) と、依然として高温の状態が継続していました。

なお今回の観測時に、火口壁の一部が崩落した跡が確認されました。この崩落により従来の噴煙出口の半分以上が埋没し、今まで噴気のなかった場所からも噴気が立ち上がっていました。



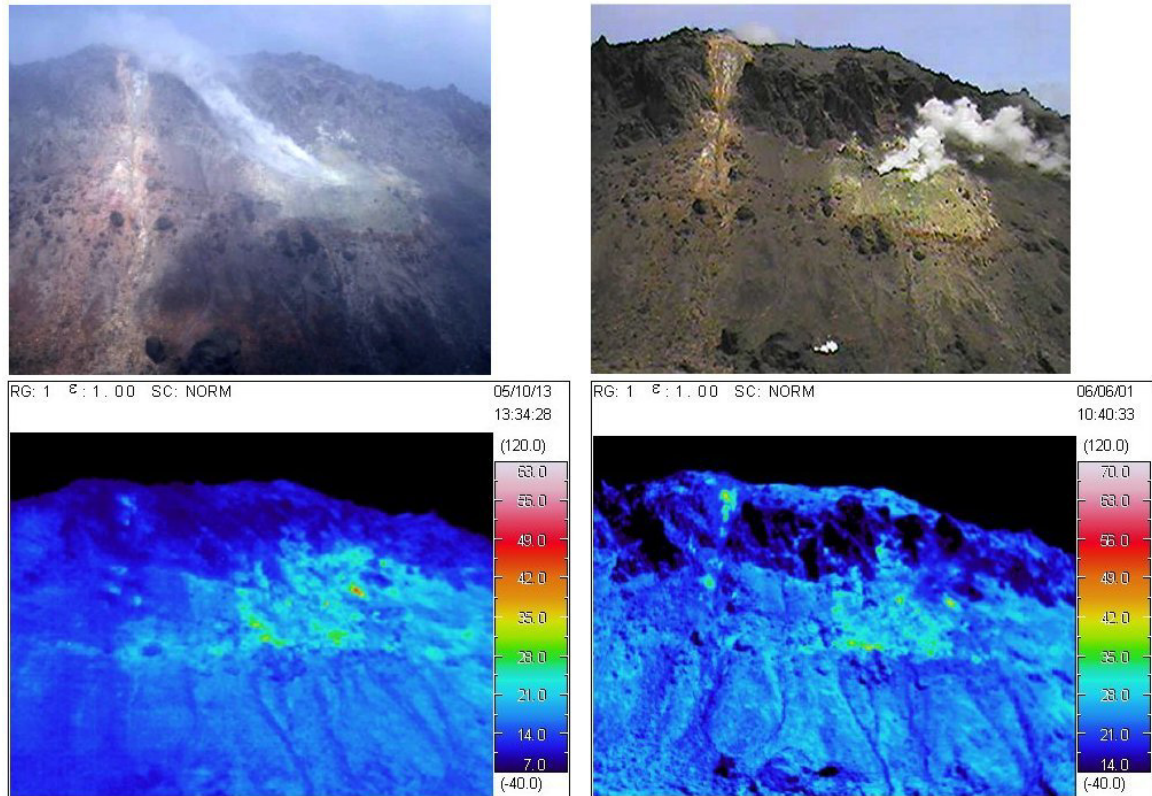
火口壁の崩落前後におけるA火口内の状況

(左：2005年10月12日 右：2006年6月1日)

右の写真では従来の噴煙出口の手前から噴気が立ち上がっている

【B 噴気孔群】

複数の噴気孔から白色の噴気を勢いよく噴出し、最高温度は約 430℃（昨年 10 月の観測時は約 440℃）と、引き続き高温の状態が続いていました。赤外熱映像装置\*による観測では新たな高温域は認められませんでした。



B 噴気孔群およびドーム南西亀裂の表面温度分布  
 (左図 : 2005 年 10 月 13 日、右図 : 2006 年 6 月 1 日)

【その他の火口・地熱域】 特に変化はありませんでした。

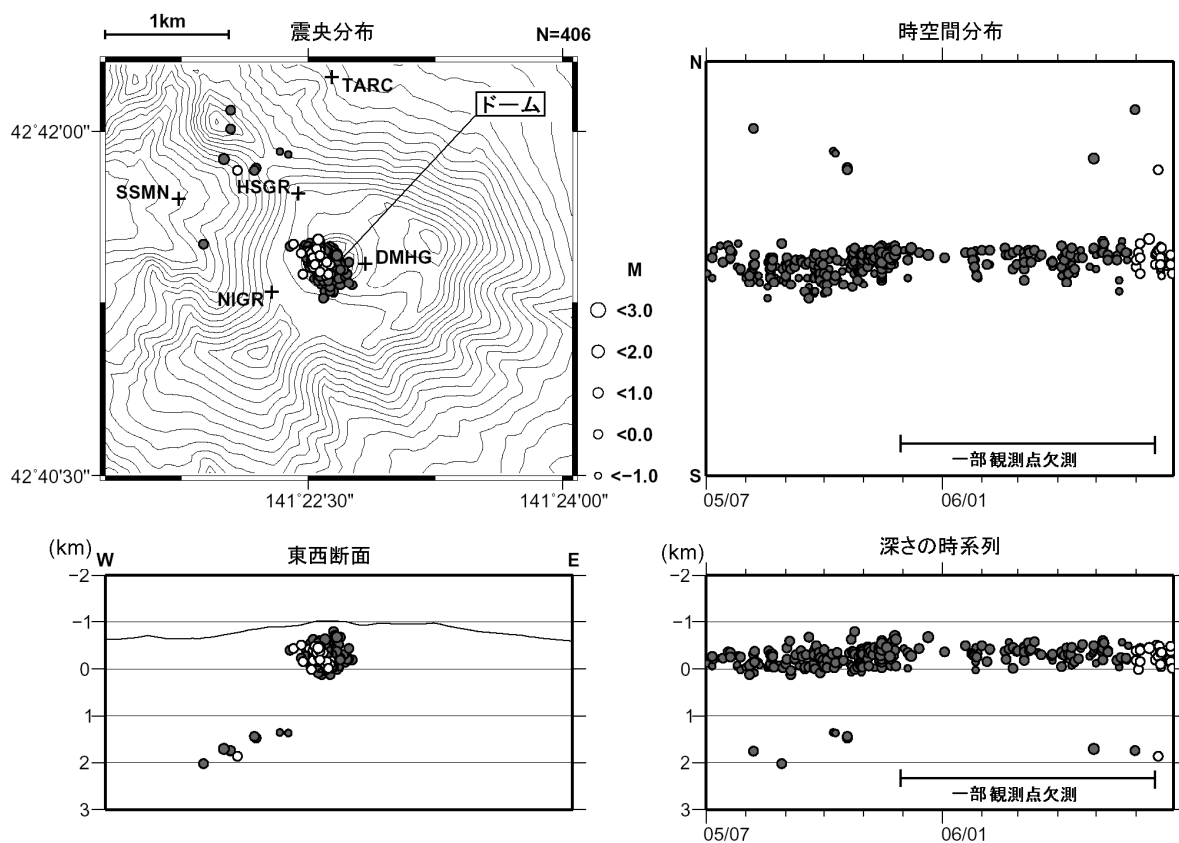
\* 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、熱源から離れるほど測定される温度は実際の温度よりも低い値になってしまいます。また、噴煙や霧で測定対象が見えにくい場合には温度測定ができないこともあります。

### 3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 1 日あたり 0~10 回とおおむね平常レベルで経過しました。震源はこれまでと同様、山頂ドーム直下のごく浅い所 (山頂から深さ約 0.5km 付近) に集中していました。火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数 (C 点)

2005~2006 年	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
地震回数	33	46	50	96	349	38	60	77	45	32	75	61
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



樽前山の震源分布図 (丸印：震源、+印：地震観測点)

※2005 年 11 月 29 日~2006 年 6 月 14 日までは、一部観測点欠測のため樽前山の震源決定能力が低下しています。

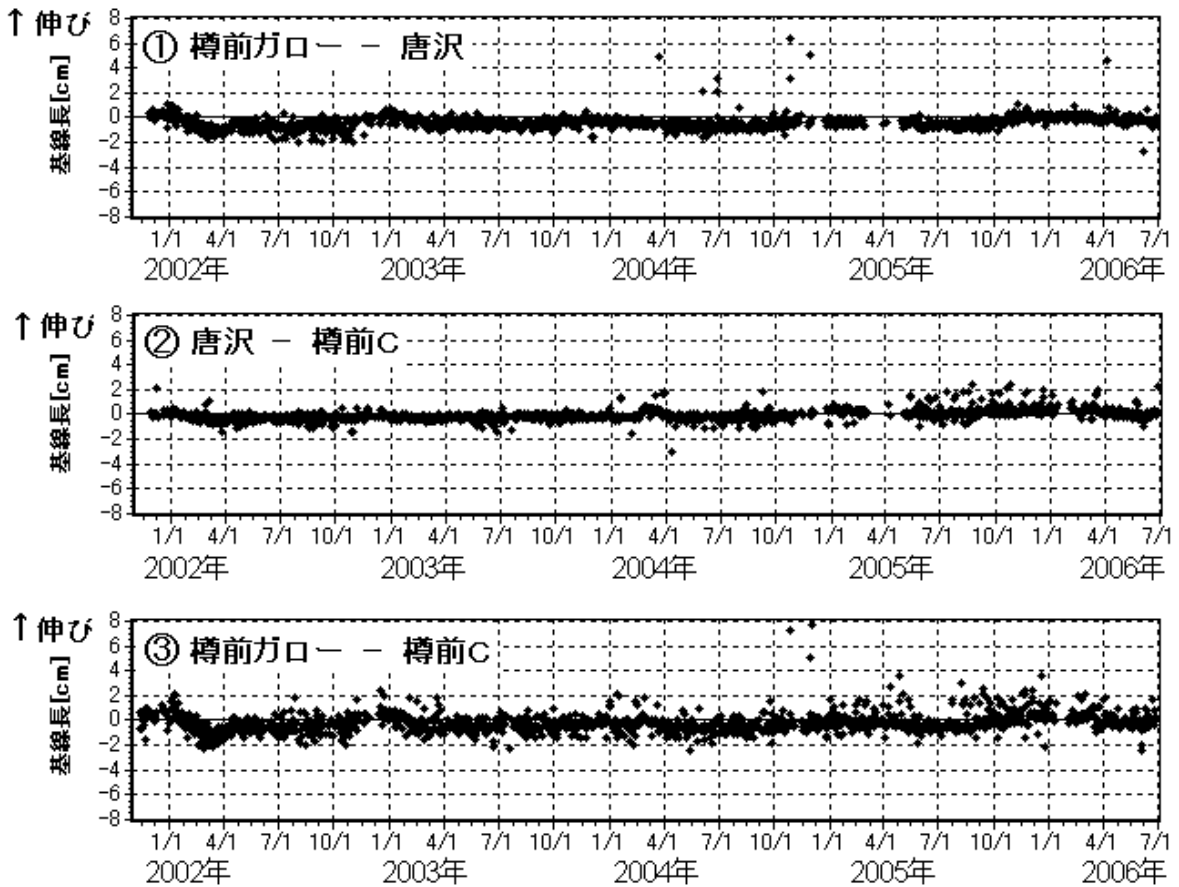
○印は今期間(2006 年 6 月)に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間(2005 年 6 月~2006 年 5 月)に求まった震源を示しています。

震源は山頂ドーム直下のごく浅い所 (山頂から深さ約 0.5km 付近) に集中し、ドームの北西及び西約 1.5km 付近の浅い所 (山頂から深さ約 2.5km 付近) にも分布しています。今期間に求まった震源は、山頂ドーム直下のごく浅い所 (山頂から深さ約 0.5km 付近) に集中しています。

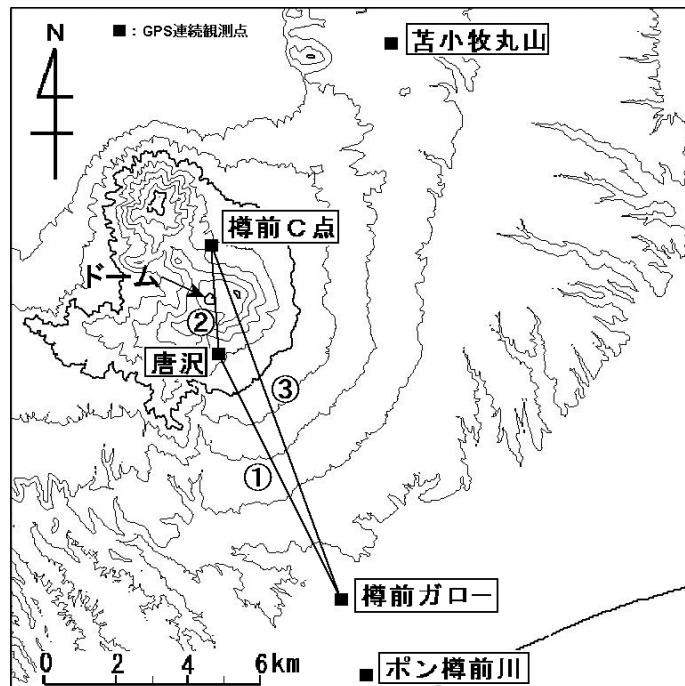
4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動に関連すると考えられる変動は観測されませんでした。



基線長変化 (2001 年 11 月 14 日～2006 年 6 月 30 日)

基線長変化グラフの空白部分は欠測



GPS 観測点配置図